

報道関係各位

2015年5月13日
株式会社アルマード

～アルマードとの産学連携による「卵殻膜」研究者がそれぞれ受賞～
**東京大学・加藤久典特任教授が日本栄養・食糧学会で「学会賞」を受賞、
 同研究室メンバーがアジア栄養学会議で「Young Investigator Award」を受賞**

株式会社アルマード（本社：東京都中央区、代表取締役社長：鈴木祐未、以下アルマード）では、2007年より国立大学法人東京大学（本部：東京都文京区、総長：五神 真、以下東京大学）の総括プロジェクト機構・総括寄付講座「食と生命」・加藤久典特任教授の研究グループと、摂食した卵殻膜の機能性に関する研究を行ってきました。このたび、これまでの研究が評価され、下記の通り日本栄養・食糧学会の「学会賞」、及びアジア栄養学会議の「Young Investigator Award」を、同研究グループメンバーがそれぞれ受賞することとなりましたのでお知らせします。

■**加藤久典東京大学特任教授が平成27年度 日本栄養・食糧学会の学会賞を受賞**

公益社団法人日本栄養・食糧学会では、毎年、栄養・食糧科学の発展に寄与した同学会会員に対して、各賞を授与していますが、今年度の学会賞（栄養・食糧科学に関する基礎的あるいは応用的学問分野において顕著な業績があり、現在も研究へ従事が対象）を、東京大学の加藤久典特任教授が受賞することが決定しました。同賞の授与式及び受賞講演は、来る5月14日より開催される、第69回日本栄養・食糧学会大会において行われます。

- <受賞者> 東京大学特任教授 加藤久典氏（東京大学総括プロジェクト機構・総括寄付講座「食と生命」）
- <授賞> 平成27年度 日本栄養・食糧学会 学会賞
- <授賞式> 2015年5月14日（木）、パシフィコ横浜（横浜市西区みなとみらい）
- <受賞講演> ニュートリゲノミクスの基盤構築と食品機能研究への応用
 -栄養学・食品科学における網羅的解析であるニュートリゲノミクスに萌芽期から積極的に取り組み、ニュートリゲノミクスデータベースの作成・公開等を行い、国内外の同分野研究推進の寄与に努めた。コーヒー摂取の抗肥満・抗糖尿病効果、卵殻膜粉末の肝機能改善効果など、様々な食品・食品成分の新規性や作用メカニズムをオーム解析で明らかにした。

■**総括プロジェクト機構・総括寄付講座「食と生命」研究室メンバーである東京大学大学院・西東恵梨氏が2015年のアジア栄養学会議にてYoung Investigator Awardを受賞**

また、4年に一度開催される、アジア栄養学会連合会（Federation of Asian Nutrition Societies）主催の第12回アジア栄養学会議（12th Asian Congress of Nutrition）において、加藤久典特任教授の研究室メンバーである、東京大学農学生命科学研究科修士課程2年の西東恵梨氏が、若手の優秀な研究者に授与される、Young Investigator Awardを受賞することとなりました。今年のアジア栄養学会議と日本栄養・食糧学会大会は同時開催され、本授賞式は5月17日に行われます。

- <受賞者> 東京大学農学生命科学研究科修士課程2年生 西東恵梨氏
- <授賞> 第12回アジア栄養学会議 Young Investigator Award
- <授賞式> 2015年5月17日（日）、パシフィコ横浜（横浜市西区みなとみらい）
- <受賞演題> *A multi-faceted omics study on the mechanism of the suppressive effect of egg shell membrane on DSS-induced colitis in mice.*

（統合オミクス解析による卵殻膜摂取におけるDSS誘導潰瘍性大腸炎抑制効果の作用機構の検討）
 -これまでに本研究グループはデキストラン硫酸ナトリウム（DSS）誘導潰瘍性大腸炎モデルマウスを用いて卵殻膜摂取による大腸炎の抑制作用を報告した。本研究では、統合オミクス解析によりその作用機構について検討した。これらの結果から、卵殻膜の大腸炎抑制効果の作用機構には、炎症サイトカインやTh17の産生、LPS誘導肝臓炎症反応、乱れたエネルギー代謝を調節した可能性が示唆された。

<演者> 西東恵梨 (※1)、花手愛夏 (※1)、賈慧娟 (※1)、アウ・ワンピン (※2)、長谷部由紀夫 (※3)、
福田真嗣 (※2)、富田勝 (※2)、加藤久典 (※1)
(※1…東京大学、※2…慶應大学、※3…株式会社アルマード)

【参考】

■産学連携研究プロジェクト概要

[研究責任者] 東京大学総括プロジェクト機構・総括寄付講座「食と生命」特任教授 加藤久典
卵殻膜と肝機能の研究・腸での吸収に関する研究。摂取する食事成分が体内の遺伝子発現に
与える影響の研究を専門とし、特に皮膚での効果にも注目して研究を行っている。

[産学連携企業・株式会社アルマード 会社概要]

- 商号 株式会社アルマード
- 本店 東京都中央区京橋 3-6-18
- 代表者 代表取締役社長 鈴江祐未
- 設立 2000年10月18日
- 事業内容 卵殻膜を主要素材とした化粧品、サプリメント等の企画・開発・販売

(※株式会社アルマードは、株式会社ディノス・セシールの関連会社です。)

<本資料に関する報道機関からのお問い合わせ先>

●本研究プロジェクト全般について

国立大学法人東京大学総括プロジェクト機構・総括寄付講座「食と生命」
特任教授 加藤久典
Tel : 03-5841-1607 / e-mail : akatoq@mail.ecc.u-tokyo.ac.jp

●その他産学連携企業について

株式会社アルマード 広報担当 菅谷 (株式会社ディノス・セシール 広報室)
Tel : 03-6743-1114 / e-mail : pr@dinos-cecile.co.jp